

教 科 名	美 術	週時間数	1	学 年	3
使用教科書 及び 副教材 等	美術 2・3（光村図書） 美術資料（秀学社）， レタリング字典（秀学社）				
指導の重点	「学ぶ意欲」 「表現力」 「思考力」				
教科のねらい	・楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い心豊かな生活を創造していく 「主体的に学習に取り組む態度」を育てる。 ・感性や創造力を高め、「豊かに発想し構想する能力」や、対象を深く観察する力、基礎 的技能を身に付け、創意工夫し美しく「表現する能力」を育てる。 ・鑑賞については、作者の心情や意図、「表現の工夫」を感じとる能力を養いたい。				
授業の進め方	・作品の制作を通して、豊かな発想力、幅広い表現力を身に付けられるようにする。 ・鑑賞では、教科書・美術資料等を鑑賞し、ワークシートを使って自分の感想・意見を述 べられるようにしていく。				
定 期 考 査	出題方針	一年間、授業中に学習、制作した内容を中心に出題する。			
	範 囲 (予定)	1 学期中間			
		1 学期期末	1 学期の学習内容からの出題、実技問題		
		2 学期中間			
		2 学期期末	2 学期の学習内容からの出題、実技問題		
		学 年 末	3 学期の学習内容からの出題、実技問題		
学 習 方 法 (アドバイス等)	授業に意欲的、積極的に取り組む。 ・チャイム着席、作業の準備、後かたづけがしっかりできるようにする。 ・提出物は期日を守って必ず提出する。 ・私語は慎み、根気よく制作に集中する。 ・各自の制作に必要な資料や材料を準備し、制作に生かすことができるようにする。				

評価	観点	評価基準	評価方法
	① 知識及び技能	・自然や身近なものを深く観察し、形や色彩の特徴や美しさをとらえて表現することができているか ・表現の基礎的技法を理解し、制作することができているか・自分の表現意図にあった材料・用具を生かして創意工夫し、制作することができているか ・日本及び諸外国の文化遺産や美術作品など、美しさや特色、相違点と共通点、歴史などを理解することができているか	・授業の様子 ・作品の内容 ・テスト
	② 思考・判断・表現	・様々な角度から発想し、構想を練ることができているか ・制作過程において、修正、検討しながら、自分らしい表現を心がけることができているか・作品の良さや美しさを感じ、味わうことができているか ・作者の心情や意図、表現の工夫を感じ取ることができているか ・美術と社会や生活との関わりについて、気づくことができているか	・授業の様子 ・作品の内容 ・テスト
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・授業に関心を持ち、意欲的、積極的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができているか。 ・資料や材料・用具の準備、後片付けができているか ・作品等、提出期限を守って提出することができているか ・美術や文化についての知識、基礎的な技法について理解することができているか。	・授業の様子 ・準備、後片付けの状況 ・作品の内容 ・テスト

年 間 授 業 計 画 書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4	空想画	・ 音楽を聴いて、空想画を表現する ・ モダンテクニックを利用	1 9	・ 自分のイメージを膨らませ、自由にのびのびとした画面構成をする ・ 技法や材料などを工夫し、自分のイメージに近づくように制作する。
	5				
	6				
	7				
2	9	鑑賞	・ ピカソ「ゲルニカ」を味わう	1	・ ピカソの心情、表現意図、表現の工夫を感じ取り、「ゲルニカ」のよさや美しさを味わう
	10				
	11	デザイン	・ 童話、アニメを利用したステンドグラスの制作	1 5	・ 自分のイメージに合った画面構成及び配色ができる
3	12				
	1				
	2				
	3				